

労働問題・労働災害のトラブルには・・

(1)労働法に関する基礎知識と法律相談の本

◆『図解わかる労働基準法』2018-2019年版

荘司芳樹著 新星出版社 2018.5 (366.1/5539/2019)

人を雇ったときの手続きから、賃金制度、福利厚生制度、退職時に必要となる手続きまで、労働基準法をやさしく解説。手続き書式の実例により、人事労務制度のポイントをわかりやすく説明する。

◆『労働法実務解説』1～12 宮里邦雄,徳住堅治編 旬報社 2016,2017

(366.1/5611/)

労働契約、賃金、労働時間・休暇、退職・解雇、女性・パート・派遣労働、安全衛生・労働災害、高齢者雇用、ブラック企業・セクハラ・パワハラ対策等、テーマごとに法律と裁判例を弁護士が解説する。

◆『女性社員の労務相談ハンドブック』

山浦美紀[ほか]共著 新日本法規出版 2017.11 (336.4/7299/2017)

企業が直面する女性社員の労務問題を女性弁護士と女性特定社会保険労務士が解説し、皆が活躍できる職場づくりのアドバイスを提供する。

◆『外国人雇用のトラブル相談Q&A』

本間邦弘[ほか]著 民事法研究会 2017.6 (366.4/7183/2017)

外国人労働者の採用と活用の基礎知識と、面接、労働環境、社会保険、休職、退職・解雇等をめぐるさまざまなトラブルを、専門家がQ&A形式で平易に解説する。

◆『すぐに役立つ図解とQ&Aでわかるセクハラ・パワハラ・マタハラをめぐる法律とトラブル解決法130』 加藤知美監修 三修社 2016.7 (366.3/5637/2016)

職場のメンタルヘルスの実態や防止対策、休職・復職の手順などを、セクハラ・パワハラ・マタハラの具体的なケースから解説する。各種届出書のモデルも掲載。

◆『事例に学ぶ労働事件入門 事件対応の思考と実務』

労働事件実務研究会編 民事法研究会 2016.1 (366.1/5606/2016)

労働保全、労働審判、訴訟、相談対応、任意交渉など紛争解決手続と思考過程を、労使、個別と集団、それぞれの事例を取り上げて解説する。

◆『労働法実務全書』 布施直春著 中央経済社 2014.12 (366.1/5563/2014)

法令、通達、判例とあらゆる労働法実務を豊富な図表とともに簡潔かつ平易に解説。就業規則や労働契約他、各種規定例や書式モデルも完備。

◆『“職場のいじめ”労働相談』 いじめメンタルヘルス労働者支援センター著

緑風出版 2014.6 (366.3/5567/2014)

職場でのいじめについて、具体的な相談例から解決に向けた取り組みや方向性を探る。「感情労働」「職場の暴力」などについても検討する。

(2)労働災害に関する本

◆『労働災害・通勤災害のことならこの1冊』

河野順一著 自由国民社 2016.8 (364.5/5086/2016)

実際によくある災害例が労働災害と認められるか否か、また、保険給付を行うときに生じる疑問に答える。巻末に各種申請手続きの書式見本あり。

◆『労災保険給付の手続き』改訂2版 東京労働基準協会連合会編集

東京労働基準協会連合会 2016.11 (364.5/5116/2016)

労働災害や通勤災害の発生から治癒するまで、労災保険の給付手続きの基本的な流れを、図やQ&A、様式記載例を交えてわかりやすく解説する。災害発生から労災保険請求までのフローチャートも掲載。

◆『過労死・過労自殺の救済Q&A』第2版

大阪過労死問題連絡会編 民事法研究会 2016.11 (364.5/5127/2016)

仕事による過労等で大切な人を亡くした遺族が、労災申請を、さらに会社の責任を問うための裁判を考えたときに必要となる基礎知識から問題点まで、具体的事例を取り上げて解説する。

◆『裁判例・通達から読み解く労災保険特別加入の実務Q&A』

田中建一[ほか]共著 日本法令 2014.12 (364.5/5149/2014)

中小事業主、一人親方、特定作業従事者、海外派遣者の労災保険の加入から補償までの実務や問題点、業務上外認定のしくみなどについて、裁判例や通達に関連づけてわかりやすく解説する。

◆『新・精神障害の労災認定 「心理的負荷による精神障害の認定基準」の詳解』

改訂2版 労働調査会出版局編 労働調査会 2014.3 (364.5/5020/2014)

業務上疾病の認定の基本的考え方・認定基準策定の経過等、精神障害の労災認定について根本から説明、実務に即して詳細に解説する。

相談窓口

● 東京都労働相談情報センター

<https://www.hataraku.metro.tokyo.jp/soudan-c/center/consult/guide.html>

※来所相談(予約制)

月-金 9:00~17:00 夜間は 20:00 まで各事務所の担当曜日に実施

祝日・年末年始を除く ※土曜は飯田橋のみ 9:00~17:00

飯田橋(夜間:月・金)	03-3265-6110	大崎(夜間:火)	03-3495-6110
池袋(夜間:木)	03-5954-6110	亀戸(夜間:火)	03-3637-6110
国分寺(夜間:月)	042-321-6110	八王子(夜間:水)	042-645-6110

● 東京都ろうどう 110 番 0570-00-6110(電話労働相談専用ダイヤル)

※月曜-金曜 9:00-20:00 土曜 9:00-17:00

祝日・年末年始を除く

☆以上は所蔵している資料の一部です。関連する資料は、該当の分類番号の書架(1階法律情報コーナー及び2階閲覧室)をご覧ください。